

議会だより



五穀豊じょうを祈り「里神楽」の奉納

第294回 3月定例会

議案28件を可決・承認・同意

正・副議長の選挙、大野・勝山地区広域行政事務組合議会議員の補欠選挙
常任委員会・議会運営委員会 各委員を改選

第二百九十四回定例市議会は三月四日に開会され、理事者から提出された議案二十八件等を審議しました。

初日は、会期を二十三日までの二十日間と定め散会しました。

翌五日には、前議長、副議長の辞職に伴う選挙が行われました。

また、任期満了に伴う各常任委員会委員および議会運営委員会委員ならびに中部縦貫自動車道等整備促進特別委員会委員の辞職による選任も行われました。続いて、大野・勝山地区広域行政事務組合議会議員一名の補欠選挙が行われ、その後、市長の所信表明と、平成十年度一般会計予算案をはじめとする二十一議案についての提案理由説明が行われました。

十一日には、

清風会代表 竹内安江議員、友心会代表 畑中章男議員、がそれぞれ代表質問を行い、その後、平成九年度の各会計補正予算案の五議案が上程され、人事に関する一議案を上程・承認しました。

十二日には、一般質問が行われ、

砂子三郎（清風会）、幾山秀一（友心会）
本田 章（清風会）、米村輝子（友心会）
岡田高大（清風会）、浦井智治（共産党）
の六議員が、また十三日には、
笹島彦治（清風会）、谷口彰三（清風会）
柴 正夫（共産党）、野田幾久代（無）

坂元千秋（公 明）、村西利栄（社民党）
の六議員が、それぞれ質問に立ちました。

質問終了後、十一日追加上程の五議案を可決し、続いて請願・陳情が上程され、五日上程の議案とともに所管の各委員会に付託されました。

最終日には、各委員長報告・討論の後、議案等の採決が行われ、議案二十一件はいずれも原案のとおり可決されました。

続いて、人事に関する追加議案一件に同意しました。

皆さんから提出された請願・陳情の審議結果は、別掲のとおりです。

市政をきく 代表・一般質問から

にぎわいを触発する場の創出について

問 ①商店街の屋外空間に、偶発的な出会いや、にぎわいへの参画を促す場づくりを考えるとどうか。

②真名川下流に計画中の健康保養施設の隣接地に道の駅をつくり、活性化を図ってはどうか。

③百間堀を復元し、城下町風情がより一層増すようにしてはどうか。また、湧水地を生かした魅力ある観光ゾーンとしての取り組みはどうか。

④銀杏峰のスキー場開発により若者呼び込みはどうか。

答 ①まちなか観光の推進とにぎわいの促進を目的に、七間・寺町通りの石畳化、石灯籠通りのモジュール化、三番商店街に照明塔の設置、五番名水庵の開設等ハード事業の整備を行った。

また、各商店街のイベントに支援を行い、毎年、市内外から多くの人でにぎわっており、一応の成果はあるが、平常時には欠けている現状である。

本年度は、中心市街地の活性化に向けて基本計画を策定し、ハード、ソフト両面での要望の分析を行い、空き地利用も含めて、にぎわいの場の創出に努力したいと考えている。

②健康保養施設周辺の真名川河川敷から九頭龍川河川敷までを親水公園として整備を行い、地域一体を市民や観光客の利用を図り、健康保養施設の機能を高める計画を考えている。

今後、基本的には、市街地観光の導入拠点として、地域振興施設を核とした、道の駅整備事業を検討していく方針である。

③大野高校跡地を含めた亀山周辺地区は、都市マスタープランにおいて、市街地ゾーンの土地利用の中で、市民のシンボルとなる歴史・文化のまちづくり拠点として整備することが計画され、伝承・交流・接客をテーマに、当市の貴重な共有財産である水・歴史を取り入れ、観光客も魅力を感じる拠点形成を目指している。

今後、具体的な整備構想の中で、百間堀の復元や湧水地の活用なども貴重な意見として、検討している。

地場産業の育成と雇用促進について

問 ①全市における地場企業への就職状況について聞きたい。

②雇用促進対策として地元企業に対して具体的な施策はどのようなものか。

③若年労働力の定着と企業誘致をどのように考えているのか。

答 ①管内のほとんどの企業において、若年労働力は慢性的に不足しているのが現状である。

奥越管内への就職率は、高くなっているが、少子化の影響で

卒業者は減少している。

また、大学等への進学率が高まり、就職者数は大幅に減少しており、この傾向は今後も続くと思われている。

②企業の発展と活性化を図るため、人材の育成と確保が大きな課題となっており、一人でも多くの新規学卒者に地元企業へ就職するよう、サマー求人企業説明会等を開催している。

また、地元企業就職奨励金制度を設け、奨励金を交付しており、徐々ではあるが一定の効果を上げていると考えている。

③企業内における待遇改善等が不可欠であり、今後とも企業努力を期待するとともに、支援策を講じていきたい。

また、企業誘致についても厳しい経済情勢にあるが、その必要性を感じ、あらゆる情報収集や関係機関への訪問等を行い、なお一層努力していきたい。

審議日程

- 4日 本会議 (会期の決定)
- 5日 本会議 (議長・副議長、各常任委員会の選任、各委員の選任、議会運営委員会委員の選任、中野・勝山地区広域行政事務組合議会議員の補欠選挙、議案上程・提案理由の説明)
- 6日 休会
- 10日 休会
- 11日 本会議 (代表質問、追加議案の上程・提案理由の説明・質疑、追加議案の上程・採決)
- 12日 本会議 (一般質問)
- 13日 本会議 (一般質問、追加議案の討論・採決、請願・陳情上程、各案件委員会付託)
- 14日 休会
- 15日 委員会 (建設・産業経済)
- 16日 委員会 (" ")
- 17日 委員会 (" ")
- 18日 委員会 (教育民生・総務)
- 19日 委員会 (" ")
- 20日 (中部縦貫自動車道等整備促進特別)
- 21日 休会
- 22日 休会
- 23日 本会議 (各委員長報告・質疑・討論・採決、追加議案上程・採決)



市長の政治姿勢に

ついて

問 ①四年間の自己評価と、今後の取り組みはどうか。

②地域医療施設整備の基礎調査結果を踏まえ、今後の具体的取り組み等をどう考えているか。

③健康保養施設整備事業について、管理運営計画と今後の財政面に与える影響はどうか。

答 ①「力強い大野、やさしい大野」の実現を目指し、「環境保全と人づくり」に視点を置いた施策は、市民に理解され、浸透し、環境保全やまちづくりに取り組む自主的なグループの誕生

につながったと思っている。

一方、懸案の中部縦貫自動車道大野インターの位置決定、し尿処理施設の更新、公共下水道

終末処理場および健康保養施設用地の確保等、重要課題も解決し、市政が大きく歩みはじめる手ごたえを実感している。

しかし、「力強い大野」を実現するための活力ある産業、づくりの面は課題を残している。

今後は、「力強い大野、やさしい大野」に「美しい大野」の実現を加え、具体的な施策に力を入れていく決意である。

また、着実に進展する地方分権に的確に対応し、役割を果たすためには、広域的に対応すべき行政需要の増加が予想され、

大野・勝山地区行政事務組合を中心とした、広域行政を積極的に推進することや市民の自治意識の高揚を図りたい。

②昨年十二月に、地域医療問題研究会を設置し、総合病院建設の是非について、特に事業に要する経費や、最近の医療環境をとりまく変化等を、考慮しながら内部で検討を行った。

本年度は、専門部会を設置して、今後の施策に必要な事項を十分検討して、方向性を明らかにしたいと考えている。

また、総合病院建設については、最終的な詰めには至っていないが、敷地造成費等も考慮して、試算すると約百四十七億円の費用が掛かり、運営事業費で年間四億四千万円の財政負担となり、他の公的病院も経営が苦しいという結果が出ている。

一方、昨年九月の医療保険制度改正に伴う患者数の減少や、社会保険勝山病院の移転新築も考えられ、当市の地域医療の在り方について十分協議して本年度中には建設の是非について結論を出したい。

③平成十二年に健康保養施設のオープンを目指し、現在、実施設計および「利用システム」、「営業計画」、「組織体制」の管理運営計画の策定作業を進めている。

一方、管理運営主体は、類似

施設の状態も考慮し、効率的、合理的な管理を行うよう、さまざまな視点から検討を行い計画を策定したい。

また、財政面では実施設計および管理運営計画を基に、採算性の検証をしているが、維持経費については、設計業者の積算結果に基づき作成したいと考えている。

なお、施設整備については、昨年、国の指定を受けたので、元利償還金が普通交付税で措置される地域総合整備事業債を充当し、当市の財政負担を極力少なくする予定である。

大野市西部の開発振興について



国道整備による新しい玄関口
犬山・丁地区

問 ①雑木等が伸びて、景観を損ねている亀山公園西側をどのように整備するのか。

②戌山城址の整備、国道の環境づくりを今後どのように進めるのか。

答 ①現在計画している亀山環境改善事業で、市民・有識者の意見を聞き、段階的に広葉樹への植え替えを考えている。

また、公園内の草木の刈り払いは、貴重な植物の保護を考慮しながら、慎重に行いたい。公園西側には、市有地と民有地が混在し、市有地は公共用地として使用し、その外は普通財産として付近住民の家庭菜園や栗園として貸し付けている。

なお、景観を損ねる樹木や草は、除去・剪定・刈り取りを行い、良好な景観の保持に努めたい。

②犬山地区から黒谷地区の山沿いは、当市にとって重要な文化財や遺跡が点在している地域であり、歴史探索ルートとしてユニークなプランを検討し、戌山城址の整備も位置付けていきたいと考えている。

また、丁、犬山地区は、国道一五八号の整備により、福井方面からの新しい玄関口として、豊かな田園環境を基本とした景観づくりに取り組んでいきたいと考えている。



議長に松井治男氏 副議長に常見悦郎氏

砂子三郎議長、竹内安汪副議長の辞職に伴い、選挙が行われた結果、議長に松井治男氏、副議長に常見悦郎氏が当選しました。

松井議長

常見副議長

市職員の人事管理に

ついて

問 ①市民の要望にこたえることが、市長の重要な責務であると思うがどう考えるか。

②部長制導入は事業の推進に生かされているのか。

③職員の意識改革・勤務体制・定数について聞きたい。

④行政改革を見直し、職員の定数削減を考えているのか。

答 ①行政を運営する上で、職員

の力量は非常に大事であり、日頃から仕事面のみではなく、幅広い対話に心掛け、意思の疎通を図るとともに、研修にも積極的に参加させ、意識の高揚と資質の向上に努め、相応の成果が上がっていると考えている。

これからの地方分権時代は、市民の多様化している要望にこたえるためにも、職員の能力開発が必要であり、政策形成能力を高め、英知を結集して事務事業に取り組むことが肝要である。

また、地域づくりには、自ら考え行動する自治意識、自己責任を持った市民の参画が必要であり、市民と行政が一致協力して「力強い大野・やさしい大野」の実現を目指して努力することが、最大の責務であると考えている。

②各部・課間での連絡調整、指揮命令系統が確立し、部内各課への伝達の迅速化、責任分担の明確化により、事務処理の効率化等の成果が着実に上がっていると考えている。

職場環境や事業推進については、管理職が率先して働きやすいよう、また、部長制のメリットが最大限生かされるよう督促したい。

③事務事業を遂行するに当たっては、常に市民の要望を的確にとらえ、市全体を視野に入れた判断が重要である。

懸案事項、重要事業等については、課内協議で調整し意思統一を行い、立案、推進を図っている。

さらに、部長会議、政策懇話会、あるいは庁議において議論し政策決定を行っている。

勤務体制は、平常業務の簡素化・見直しを図り、職員間の協力体制を整え、時間外勤務を減らすとともに、代休制度を最大限活用し、健康保持と経費の縮減に努めたいと考えている。

④当市の行政改革大綱は、平成七年から本年度までを実施期間として、達成目標を明確にするため推進計画を定めて、実行性のある改革に取り組んでいる。

来年度以降は、国から示されている、地方公共団体の行政改革推進の指針を踏まえて、現行

大綱を見直し、新たに策定すべく内部検討を図っている。

なお、職員数は国の定員モデルと比べると、減少している実態であり、今後、地方分権による事務事業の委譲、新規懸案事業等による事務量の増加を考慮すると、削減は非常に困難でないかと考える。

県立養護学校の

分校誘致について

問 現在、奥越地域の状況および取り組み経過ならびに今後の方針はどうか。

答 当市からも嶺北養護学校・ろう学校等の特殊学校へ通学している児童・生徒がおり、保護者の物心両面にわたる負担軽減を図るため、県に対し奥越地域に養護学校の開設を強く要望している。

しかし、県も適正配置については理解しているが、遠距離通学者は、寄宿舎への入所に対応しているのが実情である。

また、勝山市からも通学しており、今後とも広域的な観点から誘致を積極的に要望したいと考えている。



議案等の審議結果

| 議案番号 | 件名 | 結果 |
|-------|-----------------------------------|------|
| 第一号 | 平成十年度大野市一般会計予算案 | 原案可決 |
| 第二号 | 平成十年度大野市国民健康保険事業特別会計予算案 | 原案可決 |
| 第三号 | 平成十年度大野市老人保健特別会計予算案 | 原案可決 |
| 第四号 | 平成十年度大野市簡易水道事業特別会計予算案 | 原案可決 |
| 第五号 | 平成十年度大野市農業集落排水事業特別会計予算案 | 修正可決 |
| 第六号 | 平成十年度大野市下水道事業特別会計予算案 | 原案可決 |
| 第七号 | 平成十年度大野市水道事業会計予算案 | 原案可決 |
| 第八号 | 大野市環境基本条例案 | 原案可決 |
| 第九号 | 大野市選挙公報発行に関する条例の一部を改正する条例案 | 原案可決 |
| 第十号 | 議会議員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例案 | 原案可決 |
| 第十一号 | 大野市職員の旅費に関する条例等の一部を改正する条例案 | 原案可決 |
| 第十二号 | 大野市税賦課徴収条例の一部を改正する条例案 | 原案可決 |
| 第十三号 | 大野市立集会所設置条例の一部を改正する条例案 | 原案可決 |
| 第十四号 | 保育所入所措置条例の一部を改正する条例案 | 原案可決 |
| 第十五号 | 大野市立保育所設置条例の一部を改正する条例案 | 原案可決 |
| 第十六号 | 大野市休日急患診療所設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例案 | 原案可決 |
| 第十七号 | 第二次大野市国土利用計画の策定について | 原案可決 |
| 第十八号 | 土地の取得について | 原案可決 |
| 第十九号 | 財産の取得について | 原案可決 |
| 第二十号 | 大字・字区域の変更について | 原案可決 |
| 第二十一号 | 大野市道路路線の認定について | 原案可決 |

指定ごみ袋の導入について

問 ①指定袋導入の是非を検討しているが方式等の考え方はどうか。

②指定袋制はごみ減量につながるのか。

答 ①市街地・村部の約四百五十世帯をモデル地区に指定し、昨年六カ月間、実態調査とアンケートを実施した。

また、本年一月に廃棄物減量等推進審議会を開催し、「ごみ指定袋の導入の是非」について問題提起を行い、さまざまな角度から検討して、秋頃には結論を出したいと考えている。

②他市での導入の目的は、ごみの減量と分別の徹底の二点である。



指定袋によるゴミの減量と分別

り、当市よりも厳しい分別収集を実施している。

導入していない市では、市民の協力を得て分別が徹底されれば減量となり、必要ないと聞いている。

また、県外の導入している自治体では、当初はごみは減量されたが、住民が馴れてきた頃には増加した実例もあり、今後、十分協議を重ね、検討していきたいと考えている。

**当面の諸問題について
の市長の考えは**

問 ①有終西校小学校の取り扱いはどうなっているのか。

②西部アクセスをどのように考えているのか。

③二市一村の広域合併も考えられるが、地方分権に備えての受け皿づくりはどうか。

④プロジェクト推進のために地元関係者と交わされた約束事の履行はどのようにするのか。

答 ①平成八年度から普通教室および特別教室の大規模改修工事を行った。

しかし、現在未改修部分もあるが教育上支障はないと考えている。

西部アクセス道路に伴う改築位置については、立て替える案も選択肢の一つとして、今後、

関係各位の意見を聞いて決定したいと考えている。

②中心市街地の進入路として、必要であると認識しており、犬山地係の土地の有効利用を優先的に考えて、県が買収済みの用地から亀山南を迂回するルートで六間へつなぐようにしていきたいと考えている。

③地方分権の意義は、地方自身が各施策に対して、独自性・獨創性を発揮し、主体的に物事を考え、個性豊かな地域づくりを市民と行政が協力し、推進したいと考えている。

一方、職員の意識改革と政策形成能力の向上を図るため、各種の研修などに積極的に参加させ、自己研鑽を努めさせたい。

なお、広域行政需要に対応するものは、現在の広域行政圏で積極的に取り組み、合併については、施行面や行政効率の視点からだけで推進すべきものでなく、住民の意識の醸成が不可欠であると考えている。

④協定の履行は厳守の姿勢で望んでおり、今後も変わりはないが、時代的变化や状況の変化により、協定とは異なった解決を図ったもの、あるいは現在も継続しているものがある。

しかし、協定などの約束は厳守すべきであり、適正な対応をしていきたいと考えている。



| | | |
|-------|--------------------------------|------|
| 第二十二号 | 平成九年度大野市一般会計補正予算(第七号)案 | 原案可決 |
| 第二十三号 | 平成九年度大野市国民健康保険事業特別会計補正予算(第四号)案 | 原案可決 |
| 第二十四号 | 平成九年度大野市老人保健特別会計補正予算(第三号)案 | 原案可決 |
| 第二十五号 | 平成九年度大野市農業集落排水事業特別会計補正予算(第五号)案 | 原案可決 |
| 第二十六号 | 平成九年度大野市水道事業会計補正予算(第三号)案 | 原案可決 |
| 第二十七号 | 固定資産評価審査委員会委員の承認を求めることについて | 承認 |
| 第二十八号 | 監査委員の選任について | 同意 |

**職員のやる気引き出し
と能力向上について**

問 ①職員の企画立案した政策を、直接、予算要求できる制度を作ってはどうか。

②職員研修の状況と研修成果をどのように生かしているのか。

答 ①職員の提案に関する規程に基づき、業務の改善に建設的な発想や創意工夫を随時取り入れ、活用していく制度がある。

また、常に職務に対する疑問や改善を念頭に置き、行政に関する研究心や熱意が、より高まっていくことを期待している。

なお、提案は現行制度の中で予算、施策などに反映させており、運用方法等を検討したいと考えている。

組み、採用から退職まで、計画的に全職員が受講するシステムとなっており、職務の遂行能力を養うことを目的とし、高度な知識や技能などを取得するため、県・国の研修機関へ毎年派遣している。

また、行政全般について問題意識を持つたり、課題解決の方策を見出すため、自発的な企画による研修の機会を整え、人づくり研修や海外派遣研修の実施により、当面する課題に、今までとは違った視点から判断が下せるなど、効果が生まれてきている。

現在、他の公共団体との人事交流を進めたり、行政のエキスパートを育成して、今後も、地方分権に対応できる先見性のある、職員づくりを進めたいと考えている。



真の自治体づくりの
考え方について

問 ①民間から市議へそして市長に就任されたが、その過程における考え方が生かされたか。
②職員との昼食会で得たものは何か。

③社会人採用の原点は何か。また、民間で培われた考え方が生かされているか。

④四年間を振り返り、二期目に向けての施政の特色は何か。

答 ①職員に対し、意識改革を提唱して、時間とコストを考えるとともに、一人ひとりの資質の向上を求めている。

また、市民参画の考え方が市民にも理解を得られて、平成大野屋事業や都市景観賞の提案ができてきている。

今後、行政への参画がますます

す盛んとなり、市民主権、また力強い大野、やさしい大野の実現が推進されるものと確信している。

②現場で市民と身近に接し、仕事をしている職員との懇談により、市民の意見を間接的に知るとともに、職務内容を聞くことにより、各部署の事務の把握もできた。

③職員に対して、コスト意識の重要性や行政マンとしてのプロ意識を持ち、一層の資質向上を願っている。

④職員の方々に新風を吹き込み仕事に対する取り組み、意識の変革など組織の活性化が図られ、また、民間で培われた仕事に対する厳しき、コスト意識、柔軟な発想による施策の展開を期待している。

しかし、全く異なった職務であり、早急に評価できない面もあるが、仕事に取り組み姿勢、効率的な事務処理等見習う点も多く、良い刺激を受けており、今後、試験方法年齢等を考え十分検討したい。

④市民本位の政治を基本姿勢として、誠意と情熱を持って「力強い大野、やさしい大野」の実現に取り組み、懸案事項である多くの重要課題を進展させ、一定の成果を収めることができたと考えている。

今後は、生活者主権・地方の生活重視の時代と言われ、地方においても、真に質の高い生活を実現できる社会を作ることが大きな課題である。

市民と行政が、信頼・協同して、互いが高めあう政治を行うことが、民主主義、地方自治の原点であり、当市の発展には重要であると考えている。

親水公園および
市政について

問 ①親水公園基本計画とはどのような事業か。

②市民と市役所、市政運営と市民との関係等についての問題点について聞きたい。

答 ①現在、公共下水道終末処理場や健康保養施設の整備を進めている、この地域は、九頭龍川や真名川等の合流地点であり、自然の河川景観が残され、数多くの野鳥が生息している。

また、市民の共通財産である水と密接に関連したこれらの施設と、周辺の河川流域を一体的に整備し、市民に憩い・水に親しむ場を提供するとともに、水に対する意識の高揚を図るため

請願・陳情の審議結果

| 番号 | 件名 | 提出者 | 結果 |
|--------------|----------------------------------------------------|-----------------------------------------|--------|
| 継続分 請願六号 | 飲料水汚染防止対策 についての請願 | 北御門区長 山田 武夫 外九区長 | 継続審査 |
| 請願一号 | 大野食品商協同組合 及び組合員における 学校給食材料納入に ついての請願 | 大野食品商協同 理事長 渋谷 忠久 | 継続審査 |
| 継続分 陳情九号 | 「サッカーくじ」法案 (スポーツ振興投票の 実施等に関する法律 案)に関する陳情書 | 新日本婦人の会 福井県本部 会長 辻 照子 | 不採択 |
| 継続分 陳情十号 | 医療保険制度の改悪 に反対する意見書提 出を求める陳情書 | 福井県社会保険推 進協議会 代表委 員 金森 洋司 外二名 | 不採択 |
| 継続分 陳情十二号 | 消費税を元の三%に 戻すことなどについ て意見書提出を求め る陳情書 | 消費税をなくす福 井県の会 代表世 話人 土肥 春夫 外二名 | 継続審査 |
| 陳情一号 | 御清水の湧水保全に ついての陳情書 | 大野の水を考える 会会長 野田 佳江 | 採 択 |
| 陳情二号 | 著作物の再販制度存 続を求める意見書提 出に関する陳情書 | 日本新聞労連 福井新聞労働組合 執行委員長 田中 禎浩 | 継続審査 |

計画したいと考えている。
②行政から市民、議会に対して、情報公開が十分でなく、これまでに信頼関係が生まれなかったと感じている。

的確に、早く知らせ、市民の信頼を得ることが、大きな課題であると考える。

情報を行政から議会、市民へ



人事案件

監査委員 (議会選出) の
選任に同意

雨塚忠夫氏 (71歳)
(塚原第13号5番地)

固定資産評価審査委員会
委員の承認

清水英男氏 (53歳)
(明倫町10番22号)

環境保全対策について

問 ①クリーンセンターは老朽化が進み、性能も落ち、毎年多額の補修費が必要だが今後の見通しはどうか。

②焼却炉の性能とダイオキシンの発生、また、リサイクル焼却炉の調査についてどのように考えているのか。

③産業廃棄物の焼却と苦情について調査する考えはあるのか。

④保育園、幼稚園、小・中・高校または公共施設等におけるごみ焼却炉は、ダイオキシン発生観点からどう考えているか。
⑤生ごみのリサイクルについて考えはないか。



実態把握をしたい小規模施設

答 ①昨年四月から、村部地区の可燃ごみの週二回収集や、毎週水曜日を『資源リサイクルの日』と設定し、新たな分別収集の実施により、約十パーセント減量され成果を収めている。今後もおなじみの減量化に努め、焼却施設の負荷を軽減したいと考えている。

一方、ダイオキシン問題がクローズアップされる中、発生抑制対策として、施設大型化の方針が打ち出されており、今後、奥越二市一村による広域化計画の中で検討していきたい。

②焼却炉の性能よりも、むしろ焼却対象物が問題であり、原因物質といわれるプラスチック類等の分別排出ならびに収集を基本に、リサイクルできる焼却炉方式、施設等も含めて、調査したいと考えている。

③大気汚染防止法等で届け出が不要な小規模施設は、実態を把握しておらず、調査したい。

なお、苦情がある場合は、奥越保健所大野保健部と発生源者に対し、適正な処理の協力依頼や指導を実施している。

今後とも、関係機関と連絡を密にし、パトロールや指導等を強化したいと考えている。

④環境保全の観点から、小規模焼却炉によるごみ焼却処理は、廃止の方向で取り組んでいる。また、ごみの減量を図ると

もに、小・中学校へのごみステーションや用紙類裁断機を計画的に配置し、分別方法により排出を行うなど、諸準備を進めているところである。

⑤現在、村部では生ごみの堆肥を使用した有機農法による実践事例があり、効果を見極めながら、今後、廃棄物処理基本計画の見直しの中で、十分検討したいと考えている。

しあわせな暮らしづくりについて

問 ①医療と福祉の連携、在宅介護の支援についての取り組み状況はどうか。

②市民が自立し、支え合うまちづくりを実現するために、どのような施策をとっているのか。

③ゆつくりと歩ける町、人にやさしい町をつくるための行政の役割は何か。

④弱者を支えるマンパワー（人的援助）の強化、充実をどのように実現していくのか。

⑤介護保険制度導入による福祉施設への影響、福祉の後退を招かないためどのような取り組みを考えているのか。

答 ①在宅介護支援センターの職員が、老人宅へ出向き、福祉サービスの相談業務等を行っている。

また、保健所・社会福祉協議会等の職員で「高齢者サービス調整チーム」を構成し、検討会を開催し、医療・保健・福祉の連携に努めている。

すべての市民が健康で安らぎのある生活を送ることができ、地域のネットワークづくりが、最も重要であると考えている。

②社会福祉協議会では、地域のふれ合いネットワークづくりの一環として、住民福祉座談会や介護教室等、地域に即した事業を促進している。

また、地域で住民がお互いに支えあうまちづくりを推進するため、集いや情報交換する拠点づくりが重要であり、老人センターの充実も考えている。

③高齢者の活動の場を広げ、自由な社会参加ができるように、障害物を取り除くことが必要である。

市民の要望は多種多様であるが、必要な措置を計画的に講ずるべきであると考えている。

また、高齢者の健康づくりや触れ合い・交流の場を身近に確保するとともに、行政だけでなく民間の活力を結集し、協働体制を整えることが、特に必要であると考えている。

④現在、マンパワーの中心であるホームヘルパーが、より質の高い援助をめざ

し、資格取得、研修会の参加等、専門性が発揮できるよう努めている。

今後、在宅福祉サービスの需要はますます増大するため、ヘルパーの雇用条件の改善を図るとともに、人員の確保、資質の向上に努めたい。

⑤福祉施設は、介護の専門機関としてサービスを提供し、機能回復が図られ、在宅生活が可能となるように努めるとともに、適切なデイサービスやショートステイなど、居宅サービスが提供できるよう、施設づくりと事業の充実策を図る必要があると考えている。

赤根川の河川改修について

問 赤根川改修の遅れをどのように対応しているのか。

答 下流域において約一・七キロメートルの改修は終了しているが、上流域の改修を行うためには、地元住民の合意を得ることが必要である。

今後、関係機関との連携を図り、地元住民に対する啓発活動等、粘り強い活動を通じ、流域住民が安心できる生活を確保するために、さらなる努力をしていきたい。



なる努力をしていきたい。

各常任委員会委員を 改選

任期満了に伴う各常任委員会委員の改選が行われ、新しい委員の構成が、次のように決まりました。

◎は委員長 ○は副委員長

総務常任委員会

◎本田 章 ○幾山 秀一
竹内 安注 松井 治男
畑中 章男

産業経済常任委員会

◎笹島 彦治 ○坂元 千秋
谷口 彰三 雨塚 忠夫
栄 正夫

建設常任委員会

◎岡田 高大 ○宇野政市郎
高岡 和行 常見 悦郎
村西 利栄 金森 幸蔵

教育民生常任委員会

◎米村 輝子 ○砂子 三郎
浦井 智治 牧野 勇
野田幾久代 平間 源治

議会運営委員会

◎竹内 安注 ○畑中 章男
谷口 彰三 高岡 和行
牧野 勇 宇野政市郎

農業集落排水事業に ついて

問 補助対象外事業においても事業主体である市は、責任があるのではないか。

答 対象外事業は、末端一戸にかかる事業費、宅地内における排水設備事業であり、全額地元負担で建設している。

また、建設にかかる設計、監督、検査等は、当市が補助事業と同様の手続きを取っており、大野市農業集落排水処理施設の設置及び管理に関する条例により、検査を実施し、完成後は処理区の維持管理業務、管路および公共枘までの管理を行っている現状である。

市街地活性化対策に ついて

問 ①大型店の出店で商店街に深刻な影響を与えていないか。

②大型店進出による影響調査を実施する考えはないか。

答 ①近年、車社会の一層の進展、価格破壊といわれる流通の改革、あるいは規制緩和等激しい商業関係の中で、中心商店街の小売業に与える影響は少なからず生じており、既存商店街の

振興は重要な課題であると認識している。

②現段階で調査の実施は考えていない。

しかし、中心市街地活性化計画の中で、現況調査・分析を行い、商店街が有する特性を生かし、子供から高齢者まで安全で親しみめる商店街の形成に向けて検討を重ね、活性化に向けて努力したいと考えている。

心の豊かな人づくりに ついて

問 ①教育委員会・教師・親・地域・子供がバラバラに取り組んでいる現状をどのように関連させるのか。

②個性豊かな子供を育てるために行政はどのように関わり、支援するのか。

答 ①学校と行政、付属機関と団体等の連携を密にし、事業活動の系統性の統一を図るため、四中学校区に研究実践活動を組織し、取り組んでいる。

②また、開かれた学校づくりをめざすため、校下を中心に地域の結びつきを一層深く持つよう努め、心豊かな人づくりを推進したいと考えている。

各学校の教育目標により、児童生徒の興味・関心や課題を大切にしたい学習や選択授業など、

個性を生かした教育を推進している。

また、教職員の研修を図るなど、個性豊かな児童生徒の育成をめざしたいと考えている。



マンパワーの確保と充実
(ホームヘルパーの活躍)

高齢者対策について

問 ①六十五歳以上を高齢者として一括してとらえず、年齢の細分化を図り健康状態に合わせた対応はどうか。

②老人福祉計画の達成度合と、今後予定される介護保険導入に向けた、行政の取り組みが重要だと思いがどうか。

答 ①当市では、寝たきり老人ゼロを目指し、年齢に応じた老人保健事業を実施している。

一方、福祉施策は、自立して生活している方には、老人クラブ活動、はり・きゅう等の助成

を、また、虚弱および寝たきり老人には、ホームヘルパー派遣、デイサービス等の事業を実施している。

今後は、介護保険制度の導入に向けて、要介護認定モデル事業を実施し、年齢や健康状態に応じた対策を検討すべく準備を進めている。

②老人保健福祉計画の実施状況を、平成十一年度の目標数値を基準にすると、ヘルパーは常勤換算で五七・五、デイサービスは七五、ショートステイは九一パーセントの達成率である。

介護保険導入に伴い、事業計画策定が義務づけられており、介護保険事業計画と老人保健福祉計画の調和を保つよう見直しが必要であると考えている。

本年度は、高齢者のニーズの調査を実施して、行政と民間の果たす役割等について、計画策定の中で十分検討したい。

今後、多様な高齢者像を視野に入れ、さまざまなシステムを作り上げていくことが肝要であると考えている。

また、マンパワーの確保、充実が必要であるが、有資格者の力を借りて対応していきたい。

なお、要介護の認定には、地域間の格差を是正するために、審査の在り方を市単独か、広域で捉えるか等も含めて、検討していきたい。

中山間地域総合整備事業（広域連携型）について

問 ①広域連携型の事業、および特徴はどのようなものか。
②道路および架橋の整備はできるのか。
③集落排水および営農飲雑用水事業に取り組めるのか。
④事業は、阪谷地区で取り組めるか。

答 ①中山間地域総合整備事業は、一般型、生産基盤型、および広域連携型の三つのタイプがある。
事業内容は、数市町村にまたがる地域を対象とし、従来の農業施策では対応困難な都市と農村の交流、定住条件の整備を、地方の単独事業等との一体的な構想で実施する事業である。
また、特徴は広域的な単位で

就業機会の確保、居住環境の整備、都市との交流等を行うことにより投資の重複を避け、市町村の役割分担と有機的な連携の下に、地域の総合的な活性化を達成することにある。
②地域の地形条件等を考慮し、公共性があるものについて農道の新設、農道橋は整備できることになっている。
③集落排水は、取り組むことはできない。

また、営農飲雑用水施設整備は、受益戸数十戸以上あり、末端二戸までを対象に整備でき、また防災安全施設、用地整備、農村公園施設、活性化施設、生態系保全施設等も対象となっている。
④数市町村にまたがる広域を対象としており、隣接の市町村との連携が採択要件となるため、勝山市との協議が必要であると考えている。

中部縦貫自動車道等整備促進特別委員会 委員の変更

谷口彰三 委員を副委員長に選出
高岡和行 議員を新委員に選任

大野・勝山地区広域行政事務組合議会議員の補欠選挙

当選 砂子三郎

高齢者・医療・福祉対策について

問 ①高齢者・医療・福祉対策の現状を分析し、どのような対策を講じているのか。
②老人福祉施設運営の実態把握と指導監督をどのように行っているのか。
③行政・市民相互の意識改革と

マンパワーの充実策をどのように考えているのか。
④元松田電気の建物を改装し、社会福祉協議会を移す計画はあるのか。また、全部開放し、ヘルプ事業を充実させるべきではないか。

答 ①高齢化率は二一・二パーセントで、養護・特別養護老人ホームには百五十八人が入所している。
また、在宅福祉サービスは年間六百十一人で三千二百十回利用している。
なお、日常生活用具給付、一人暮らし老人に対する給食サービス、寝具洗濯サービス、紙おむつ等の支給、要介護老人住宅改造の補助等も行っている。
今後は、一人暮らし・虚弱・寝たきりや痴呆性老人に対し、症状に応じた在宅における福祉サービスの提供を重点に対策を講じたいと考えている。

②指導監督は、適正な施設運営を確保する見地から、入所者等の処遇、経営面等全般にわたる目的で、当市も立ち会い、県が実施している。
入所が決定されると、家族等にできる限り面会に出向き、相談相手になるよう勧めている。
また、施設関係者には、入所者の声を十分汲み取り、意志の疎通を図り、処遇改善に努めるよう指導したいと考えている。
③介護保険制度の実施に向け、マンパワー、とりわけホームヘルパーの確保が必須の要件となり、当市も、資格取得のため養成研修等や研修事業の条件整備についても努力したい。
大野市・上庄農業協同組合では、八十九人の資格取得者があり、活躍を期待している。
今後は、介護福祉士等の資格をもった職員の採用や資質向上にも努め、研修等にも積極的に

議会日誌

- 9年◆12月
24日 大野地区消防組合議会
25日 大野・勝山地区広域行政事務組合議会
10年◆1月
7日 子供サミット事業（中学生議会）
19日 福井県市議会議長会臨時総会（福井市）
21日 代表者会議・議会運営委員会、議員全員協議会
29日 大野行政懇談会
◆2月
3～4日 議会運営委員会 行政視察（富山県：小矢部市）
6日 総務常任委員会協議会
10日 福井県市町村交通災害共済組合議会（福井市）
12日 代表者会議・議員全員協議会、中国研修生寮落成式並びに受入れ歓迎会（農協会館）、遼陽市人民政府訪日団表敬訪問（市役所）
13日 広域行政圏市議会協議会（東京）
18日 全国市議会議長会第64回評議員会（東京）
19日 ☆特豪：委員長市事務引継（新潟県：五泉市）
24日 大野・勝山地区広域行政事務組合議会 行政視察（京都府：大山崎町、滋賀県：湖東町）
25日 代表者会議・議会運営委員会、議員全員協議会
都市計画審議会
◆3月
1日 春節の集い（有終会館）
3日 土地開発公社理事会、国保運営協議会

議会の傍聴

議会の傍聴は、本会議の当日、議会事務局で、受付簿に氏名等を記入するだけです。
お問合せは

議会事務局まで

☎ 六六一一一一

（内線二五一・二五二）

委員会報告

各委員会における協議事項、意見、要望等の趣旨について、それぞれ委員長よりの報告は次のとおり。

ように努められたい。
さらに、他の補助事業の実施に当たっても、事業主体において補助の目的や趣旨を十分に踏まえ、関係者全体の理解の上で進められたい。

建設常任委員会

○農業生産を事業目的とする法人等への補助について
地域の発展に資するため所期の目的を十分に踏まえ、法人等と地域住民とのつながり、地域への貢献などの効果について、注意深く見守るとともに、今後の指導・監督を怠ることのない

○西部アクセスについて
理事者の説明でも実現可能な箇所から事業を着手していきたいとのことであり、早急に事業着手されたい。

○大野市景観条例制定準備委員会委員の選出について
従来のような各種団体長等の充て職的なものではなく、各種団体で十分検討し、選出している。ただくよう配慮すべきである。

○合併浄化槽設置整備事業について
当事業の補助について、国の減額を受け、当市も同様の措置を取られた。
しかしながら、厳しい財政事情にあることは理解できるものの、環境保全の基本姿勢や公共水域の保全上、その不足分は当市の補てんにより従来の補助額を維持し、さらに事業の促進を図られたい。

教育民生常任委員会

○奥越ふれあい公園の維持管理について
これまでも、重ねて決算特別委員会で指摘されているが、事業完成後の施設管理に支障をきたすことのないよう、現段階から県と十分な調整をされたい。
○公共下水道事業について
今年度より事業着手となり、順調な事業推進を期待するが、これまで論議されてきた当市の特性を十分配慮し、今後、供用開始までの計画等は、関係地区住民の理解を得ながら、事業を円滑に推進されたい。

総務常任委員会

市民の理解、協力を得ながら、なお一層努力されたい。
○天然記念物整備活用事業（本願清水）について
計画策定は、当市の地下水の実情に熟知した専門家ならびに識者等を軸に、関係各課の連携を密にして検討されたい。

中部縦貫自動車道等整備促進特別委員会

めながら、厳しい財政状況にあることを認識して、経費の節減に努力されたい。

○親水公園基本計画策定業務について
健康保養施設、公共下水道終未処理場周辺から真名川・九頭龍川の合流点一帯を自然豊かな公園として、また、「道の駅」を視野に入れて周辺土地の動向など、関連する諸施策に十分配慮されたい。

本年一月には、待望久しい大野インターチェンジの概略図が公表され、アクセス道路となる大野インター線などが都市計画決定に向けて着実に歩みだし、また、本年中に油坂峠道路の供用開始も予定されている。
まだ開催されていない地元説明会に関しては、沿線関係地域の機運が達した時期を見極めて開催されたい。

しかし、調整に相当の時間を経過している現状から、その手法の見直しも念頭に、さらに積極的な努力を望むものである。
一方、基本計画に組み入れられた、大野・和泉間の、早期整備計画格上げについても、陳情行動を早期に行うなど、本事業の促進に向けて今後とも理事者のさらなる努力を支援しながら、粘り強く継続して所期の目的達成のため、引き続き取り組んでいきたい。

藤田議員の死を悼む



故 藤田 護 議員

藤田 護議員は、去る3月20日急逝されました。（享年70歳）

謹んで哀悼の意を表します。

藤田議員は、昭和58年に大野市議会議員に初当選され、建設・教育民生常任委員会や水行政対策特別委員会の委員長をはじめとして、副議長、大野・勝山地区広域行政事務組合議会議長、市監査委員などの要職を歴任された重鎮で、高い識見と誠実さをもって市民福祉の向上と大野市政発展のために尽力されました。

生前のご功績に対し、深く感謝の誠をささげ、ご冥福をお祈り致します。

○環境基本条例の制定について
水を中心とした当市の独自性は十分理解できる。
なお、基本計画の策定には、

一方、有終会館をはじめとする市関連施設と設備には、保守点検業務や管理について、より効率的な執行と円滑な行政を進

